

(第三種郵便物認可)



安江好己社長

企画部、同システム設計部と、全部署をワンフロアに集め、業務の効率化を図つ

【岐阜】岐阜県は25日、多胎家庭を支援する施策に協力している、企業3社に

感謝状を贈った。4月から胎家庭は大変な苦勞があらります。応援をしていただき、感謝申し上げます」と



改革に挑む 三重企業

高洋電機

〒69

●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル
3階
電話 059(228)2545
FAX 059(271)6311

●四日市支局
四日市市中浜田町
4の16
ロイヤルマンションHAMADA
208号
電話 059(354)6116
FAX 059(329)5333



高祖雅規社長



完成した第4工場

自動車エンジン用部品や錠前部品の切削加工を手掛ける高洋電機(高祖雅規社長)は、試作品製造を手掛ける第4工場がこのほど完成し、7月末に本格稼働を開始する。新工場では、石英ガラスやセラミックスなど新たな素材の加工にも取り組み、半導体分野向け深耕を狙う。

半導体分野を深耕へ 第4工場が本格稼働

一部2階建て、延べ床面積は770平方メートル。5月に完成し、これまでに5軸加工機など2台を設置して、金属部品品の試作品の製造を開始した。近く超音波加工機を

導入して、非金属部品の加工に着手する。すでに半導体関連からの引き合いも来ており、同工場だけで初年度5千万円の売り上げを見込んでいる。

さらに今後、新たに2台の加工機械を導入する計画だ。同工場の従業員は現在3人配置しているが、受注増に合わせて順次増員していく。現在、売上高に占める半導体関連向けの割合は約1割。試作品製造から量産加工の受注につなげていきたいと考えている。

一部2階建て、延べ床面積は770平方メートル。5月に完成し、これまでに5軸加工機など2台を設置して、金属部品品の試作品の製造を開始した。近く超音波加工機を

れた半導体関連の展示会「セミンコン・ジャパン」に初出展した。今年7月半ばには、米国の展示会にも出展し、自社技術をアピールした。

同社は、もともとタンングステンやモリブデンなど難削材の加工に強みを持つ。第4工場での取り組みについて、高祖社長は「難しい材料の加工レパートリーを増やしていきたい」と意欲を見せている。

【会社概要】本社は三重県玉城町中薬639の1。電話は05966・588・2121。1951年創業。2021年12月期の売上高は約18億円。従業員数は150人。

「カノコソウ」栽培方法など指南

三十三総研、薬用植物の勉強会開く

【三重】三十三総研(本社四日市市)はこのほど、松阪市若葉町の松阪商工会議所で、薬用植物の「カノコソウ」に関する三重県内の市町職員向け勉強会を開いた。約20人が参加した。同社は地方創生の一環として2013年度に県からの委託を受け、薬用植物の産地化に向けた取り組みを展開している。県内の自治

長島観光開発(本社桑名市)が運営する植物公園「なばなの里」(桑名市長島町駒江)でこのほど、夏のイルミネーションイベントが始まった。中央の池では「天の川」をテーマで、天の川をイメージした水上イルミネーションと和傘を組み合わせて、幻想的な世界を演出している。

「日本の夏」を演出 イルミネーション企画始まる